

新市立病院建設地検討委員会

報告書

平成17年10月

はじめに

長崎市立市民病院及び長崎市立成人病センターは、市民への直接の医療サービス機関として、日常的な医療および高度・特殊・先進的医療ならびに救急医療を率先して担当し、公立病院として一定の役割を果たしてきた。

しかしながら、施設の老朽化によりその機能が低下しており、多様化する市民の医療需要に応えるためにも、新たな市立病院の整備が求められている。

新たな市立病院の規模と機能については、これまでの議論を踏まえ、一定の方向性は定まっているものの、建設地については未だ確定されておらず大きな課題となっており、早急に建設地の決定を行う必要がある。

本委員会は、新市立病院の建設候補地について、様々な視点にたち幅広い検討を行い、建設地として絞り込みを行うことを目的として設置された。

建設地は、地域的な医療バランスだけではなく、病院がその機能を十分に発揮できるかといった内容にまで影響を及ぼす重要な事柄である。

このようなことを踏まえ、4回開催された委員会の中で、集中した議論ができたものと考えている。

今後、長崎市では最終的な建設地の決定を行うこととなるが、本報告書がその一助となることを望むものである。

平成17年10月

新市立病院建設地検討委員会

委員長 諸岡久夫

目次

1. 長崎市より提示された候補地について	P 1
2. 委員会における主な意見・質疑等	P 14
3. 各候補地の評価の整理	P 20
4. まとめ	P 22

<参考資料>

委員会設置要綱	P 23
委員会委員名簿	P 25
委員会開催状況	P 26
新市立病院建設にかかるこれまでの主な検討経過	P 27

1 長崎市より提示された候補地について

(1) 建設候補地

長崎市からは、新市立病院に必要な延べ床面積などを考慮し、以下の3つの候補地が提示された。

- ① 現市民病院用地及び周辺地区
- ② 常盤・出島地区
- ③ 長崎駅周辺地区

(2) 新市立病院の機能・規模

長崎市からは、新市立病院の機能について下記の内容が説明された。

- ① 機能 地域医療支援病院 (研修指定病院・災害拠点病院)
 - ・救急医療機能
 - ・高度・急性期医療機能
 - ・地域の医療従事者教育支援機能
 - ・地域医療連携の中心的機能
- ② 規模 病床数 450床

(3) 候補地の位置図および写真

全体写真



長崎駅周辺地区

J R長崎駅

長崎市役所

長崎県庁

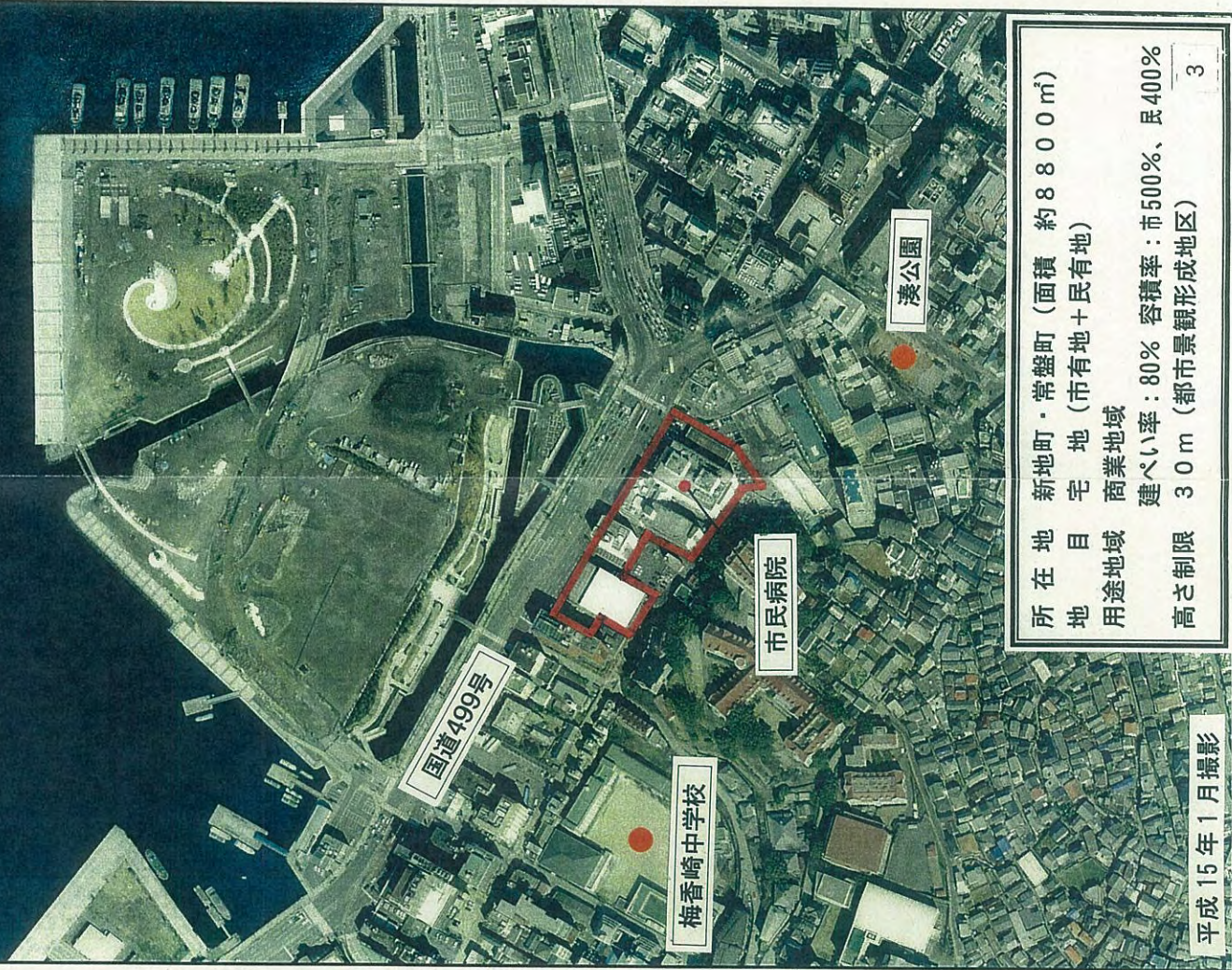
常盤・出島地区

現市民病院用地及び周辺地区



現地写真

現市民病院用地及び周辺地区



所在地 新地町・常盤町 (市有地+民有地)
 地目 宅地
 用途地域 商業地域
 建ぺい率: 80% 容積率: 市500%、民400%
 高さ制限 30m (都市景観形成地区)

平成15年1月撮影

位置図



民泊滞園留待台所

